

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS この取組はSDGsにつながっています

校長先生・児童・生徒のみなさんに突撃インタビュー！

教えて！ここがこの学校のイイところ

2022年4月に誕生した義務教育学校と小中一貫校を紹介！

生野区では、平成28年2月に「生野区西部地域学校再編整備計画」を策定し、子どもたちの教育環境の充実に向け取り組んできました。大池中学校区、生野中学校区、田島中学校区では、これまで保護者・地域住民の皆さまにご意見をいただきながら、「学校名」、「校章」、「校歌」、「標準服等」を決めるなど、新たな学校づくりを進め、2022年4月に「小中一貫校 大池学園」、「義務教育学校 生野未来学園」、「田島南小中一貫校」としてスタートしました。

開校から1年、実際に通っている子どもたちや、校長先生の“今”の気持ちや思いを聞いてきました。

問合せ 地域まちづくり課4階43番 ☎06-6715-9920

義務教育学校 生野未来学園

子どもたちにインタビュー みんなの声を聞かせて～

文化発表会で1～6年生の素晴らしい演技を見て、もっと交流を深めたいと思いました。これからも1～9年生の交流がさらに深まるような行事をしていきたいと思います。(生徒会)

10月頃にあった文化発表会では前期課程の小さな子たちの演技がすごくかわいくて、また、後期課程、9年生の演技では団結力を感じられたと思います。(生徒会)

一番の売りが1～9年生がいるという人数の多さなので、生野未来学園としてまだ歴史が浅いので、どんどん様々なことにチャレンジして下の学年の子たちが僕たちのやったことを見習ってどんどん歴史を深めていってほしいと思います。(生徒会)

9年生の送る会で花道を作って拍手で送ったときに、9年生がすごく笑顔だったので嬉しかったです。(児童会)

人数が増えてクラス替えのドキドキが味わえるようになり、いろんな人と交流ができるようになって、前の学校とは一味違う生活を送れるようになりました。(児童会)

校長先生にインタビュー

生野未来学園 中山学園長

生野未来学園の学校目標は「9年間で夢を語る子どもを育てる」です。自分の夢を語ることでできる子どもを育てることから、本校では、学校独自の教科である「IKUNO 未来科」に取り組んでいます。この教科では、生野区がものづくりのまちということに焦点を当て、そのことに子ども達がもう一度目を向けるよう、地域企業やものづくりの匠への聞き取りを進めています。また、職場体験などの活動も充実させて、自分たちが生野に誇りをもって、ここで生活して良かったという気持ちを持ちながら社会に羽ばたいていくことを目標にしています。学年が1年生から9年生となり、他の学校ではできない活動ができる。このことはやっぱり大きいことだと思います。上の子どもは下の子どもをすごく可愛がってくれますし、そういう優しさを持つ子ども達が、さらに優しい姿を見せてくれる学校になっていると感じています。このことは本校の一番の魅力です。いろいろな行事を行っていく中で、そういう姿がもっともっと見える学校にしていきたいと思います。

生徒会・児童会のみなさんです！

小中一貫校 大池学園

子どもたちにインタビュー みんなの声を聞かせて～

小学生が運動会を見に来てくれて、応援で盛り上げてくれましたとても嬉しかったです。

僕たちが小学生の時は、小中一貫校ではなかったので、中学生と交流はありませんでした。今は小学校へ行ってレクリエーションをしたり、小学生が中学校へ遊びに来たりと交流が増えました。

中学校に来た小学生に学校案内みたいなものをしたいです。

活動体験中も小学生がとても元気で、活発な子たちが多かったです。きちんと並んでくれたり、僕らが言ったことをきちんと守ってくれて、とても印象に残っています。

校区が広くなり遊ぶところが増えて楽しい。

クラス替えをするようになって、同じ人ばかりではなくなり面白くなった。友達も増えました！

中学校1年生が小学校に来て、全校生徒で鬼ごっこをしたのは印象に残っています。中学生と一緒に中学校の話しながら、給食を食べたいです。

校長先生にインタビュー

大池中学校 前田校長先生

小中一貫校大池学園では、これまでも大池中学校で取り組んできた人権尊重の基盤をしっかりと踏まえた上で、また多文化共生教育を重視し、小中一貫した教育課程を作り上げることに努めています。現在は、中学校の英語教員が小学生に英語を教えたり、中学の部活動を小学校の運動場で行い小学生に体験してもらうなど、行事や授業の連携を進めています。また、小中一貫校としてユネスコスクール認定に向けた取り組みを行っています。子どもたちには、小学生とも交流する中で、自分自身も含めた他者を大切にすることを養ってもらい、将来、人の役に立つ大人になってもらいたいです。

大池小学校 高尾校長先生

連携型の小中一貫校として、児童生徒が一貫校であることやそれによる利点をどのように実感できるかが大切だと考えます。また、効率的な小中連携を図り、持続可能な取り組みをどのように進めていくか、保護者や地域の方々が一貫校の特色や成果をどのように発信していくかなどについても、大池中学校とともに検討を進めているところです。現在は、6年生が中学校体験入学で希望する授業や部活動に参加したり、体育大会の見学に加えて、音楽コンクールへの参加を計画しています。また、小中でペア学年(小1・2年と中3年、小3・4年と中2年、小5・6年と中1年)を決め、ペア学年ごとの交流も行っています。これらの取り組みを通して心の距離が縮まり、ただ交流することにとどまらず、児童生徒が互いに認め合えるような小中一貫校をめざしています。

生徒会・児童会のみなさんです！

田島南小中一貫校

子どもたちにインタビュー みんなの声を聞かせて～

部活動では、月に何回か5.6年生も参加するので、2年生でも教える機会が与えられるのもいいです。生徒会での目標は、「規律を正そう」から「仲よくしよう」という風に変えました。小学生とどう共存していくかを考えています。下の子からの視線をすごく感じます。行動で見られているので1人1人の意識が強まりました。休み時間に校庭で元気に遊ぶ小学生の姿を見ていると元気をもらえます！純粋なアイデアがもらえるので、小学生から学ぶことも多いです！

小中一貫校になり、前の6年生の人とまた出会えました。ゲームの話とか中学校生活などの話が聞けました。仲良かった子どもと再会できたり、新しい出会いもありうれしかったです。中学校の運動会では、小学生もリレーに参加できました。中学生の応援はとても熱がこもっていました。部活動のメンバーがユニフォーム姿で参加したりすごいなと思いました。グラウンドが使えない時は、もと田島小学校の運動場も使えるのでとても懐かしい思いがします。

校長先生にインタビュー

田島南小学校・田島中学校 今垣校長先生

現在、学校の取組には4つの柱があります。元々各学校で取り組んでいた、生野南小の「性・生教育の推進」、田島小の「言語力の育成」、田島中の「キャリア教育」を基にスタートし継続的に取り組むとともに、4つ目の柱として「読書環境の充実」が増えました。小中で1つの図書室というのも非常に珍しく、図書室を中心に図書スペースやブックトラックを活用し、校舎全体で読書環境を整備しています。また、主幹学校図書館司書が週4日勤務し、子どもの読書活動の支援や強化学習の補助をしています。子どもたちには、おもいきり楽しく学校生活を送ってほしいです。人数が増えたことは、学び合い、いろんなことを刺激し合えるということがメリットだと思いますので、多くの仲間と思いを共有して欲しいと思っています。小中の交流は、5～9年生の合同芸術鑑賞、小学生の中学校の文化祭見学、中学校の体育大会への6年生のリレー参加のほか、小学生の中学校の部活動への参加についても週2～3日17時まで5・6年生が参加する形で行っています。これらの取り組みや交流を通して小学校と中学校の違いを尊重しながらも良い点を学び合うことで連続性・一貫性のある教育を進めていきます。また、地域や行政とも連携し、防災訓練を含めた防災教育もしたいと思っています。今後もイベントなど色々な機会を通じてさらに愛着を持ってもらえるような学校にしていけたらと思っています。

生徒会・児童会代表のお二人です

緑の芝が気持ちいい～